

チェックリスト ～臨床スキル編～

チェック方法 : △・・・実施済み ○・・・自立

達成状況		ステップ1 見学中にしたいこと	ステップ2 引き継ぎ中にしたい事	ステップ3 新患をもらったら	ステップ4 土日勤務をはじめたら	ステップ5 自立するために		
評価 スキル	評価 能力	レベル目標	助言があれば基本的評価ができる	標準的な評価が自立して実践できる	症状に応じて適切な評価を実践できる	複数疾患に対し評価を実践できる	困難事例に対し適切な評価を実践可能	
		到達目標	バイタルチェックができる	ROM評価できる	画像・検査データ評価ができる	社会参加・余暇活動への評価ができる	住居・環境評価ができる	
			身体的・心理社会的側面の観察ができる	MMT評価できる	動作・活動分析ができる	生活リズム・スタイルを把握できる	制度や人的資源を把握できる	
			適切な言葉使い・内容で話ができる	感覚・バランス検査ができる	生活関連動作の評価ができる			
	チーム別目標		認知機能検査ができる					
	立案 能力	レベル目標	助言があれば基本的なP立案が可能	標準的な疾患のP立案が自立して可能	症状に応じて適切なP立案が実践可能	複数疾患でもP立案が実践できる	困難事例に対し適切なP立案が可能	
		到達目標	患者・家族のニーズを把握することができる	客観的評価から問題点の抽出ができる	長期・短期ゴールが設定できる	段階づけができる	治療経過の中で計画修正できる	
						患者の状態変化に気づくことができる		
	チーム別目標							
	治療 スキル	治療 能力・ 知識	レベル目標	助言があれば基本的治療が可能	標準的な治療が自立して実践できる	症状に応じて適切な治療ができる	複数疾患に対して治療を実践できる	困難事例に対して適切な治療を実践可能
			到達目標	リスク管理ができる	疾患特性についての基礎知識を把握している	ポジショニングができる	自助具を導入できる	回復段階にあわせた介入ができる
				疾病の情報収集ができる	関節運動を踏まえたROM.exができる	ADL訓練ができる	環境調整ができる	制度等の助言ができる
				基本動作練習ができる	負荷量を調整できる	社会生活へ向けた患者教育・指導ができる	家屋調査・住宅改修の助言ができる	
チーム別目標				福祉用具等の情報収集ができる				
連携 能力		レベル目標	助言ありで担当患者の情報収集が可能	担当患者の情報交換が自立して可能	転帰先を考慮した情報交換が実践可能	予後や公的サービスを考慮し実践可能	困難事例で最適な情報交換を実践可能	
		到達目標	必要な情報源を把握することができる	チームメンバーを把握できる	自ら多方面の情報収集ができる(医師以外)	情報収集から必要な情報を選別できる	自ら情報発信できる	
				カンファレンスでの資料を作成できる	カンファで報告ができる(入院時・月例)	主治医と情報確認・収集できる	ケースリーダーになれる	
チーム別目標								
達成項目								
社会的 スキル		業務 管理	到達目標	朝礼ができる	勤務時間管理簿の記入ができる	超勤申請ができる	施設外活動の流れがわかる	報連相ができる
				そうじができる	出勤簿の押印ができる	計画書の作成ができる	症状詳記が作成できる	優先順位がわかる
	電話応対ができる			休暇簿の申請ができる	カルテ記載ができる	連絡表が作成できる	家屋調査報告書作成	
	挨拶ができる 対院内スタッフ			挨拶ができる 対外部(家族・業者)	物品管理ができる			
	管 自 理 己	到達目標	単位数の把握ができる	一日のスケジュールをたてることできる				
			服装が整っている	時間の管理ができる	机上・物品整理ができる			
	管 安 理 全	到達目標	手指衛生ができる	一日の活動報告ができる	ヒヤリハットの報告ができる	SHELL分析ができる		

* チーム別目標は、チーム・職種ごとに特徴を出して作成しましょう

見学・模倣・実践を徹底しましょう!